

令和8年4月28日

第1回 西部幼稚園運営協議会記録

出席者 全 員
教育委員会教育支援センター所長補佐 水谷真由美
9:30~10:50

1 園運営協議会委員 「委嘱」と「自己紹介」

2 保育参観

園庭での遊びの様子を参観

3 西部幼稚園の園経営方針と今年度の重点について

園長より説明

園の教育目標「明るく 元気で 夢いっぱい」を受けて、「たくましい子」「こころ豊かな子」「思いやりのある子」の目指す姿を具体で説明。

園職員、園児数、体制については、児童生徒数の減少とともに園児数も減少傾向であるが、少しずつよさを理解してもらえ増加傾向。外国に由来する園児や特別に支援を有する園児の割合は他の園よりも高いが、支援体制が整いしっかりとサポートができています。

今年度の重点は、以下の通りである。

① 「教育活動のさらなる質の向上」

身近な環境に主体的に関わり心動かされる体験を重ね遊びが繰り返し行われる中で試行錯誤し展開、発展していくような教材や環境設定の工夫を一層、積み重ねる。

② 「CS地域園協働活動の推進」

昨年度同様、地域の教育力を生かした体験を通し、人と関わることの大切さを教えていく。

③ 「インクルーシブ教育推進」

「みんなちがってみんないい」を合言葉に個のよさやできたことを認め励ます。小さいうちから、生活や文化の違いに触れ、相手への理解を深めたり思いやりをもって接したりできる姿を目指す。

④ 「幼保小連携推進」

緩やかな接続に向けて小学校と連携しながら、本園でも幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿をきちんと捉えて指導を行っていくようにする。

最後に、教職員の基本的な姿勢としては、保育者自身がやってみたいと思える活動づくりを推進し、初任者を通して一人一人が専門性を磨く。ライフワークバランスを考えて、働き方に反映できるようにしていく。

4 令和8年度コミュニティースクール推進事業計画と予算

意見なし

5 その他

森 : 保育参観の感想では、やりたいことに時間をかけて向かえる環境が素晴らしい。時間をかけて子どもたちは生態を知ったり、思考を深めたりできている。

番 : 役員選出に関する会則の改定について

浅野 : ふれあいあそびクラブの活動紹介とコミュニティセンターだよりについて